

中国圏・四国圏広域地方計画合同協議会
議事要旨

日時：平成 20 年 12 月 1 日（月）13:30～15:00

場所：リーガロイヤルホテル広島 4 階ロイヤルホール

敬称略

1．開会

国土交通審議官挨拶

中国圏、四国圏両広域地方計画協議会会長挨拶

（中国圏広域地方計画協議会会長）

瀬戸内海を挟んでそれぞれ独自の歴史、文化を形成すると共に、人、もの、情報の交流の歴史を刻んできた。本四連絡橋や圏域内の高速道路など交通基盤の整備が進み、両圏域間の時間距離が大幅に縮まってきている。双方の圏域が独自性のある地域づくりを行うとともに、観光、産業、環境保全などにおける幅広い連携、交流により、両圏域の持続的な発展に繋げていくことが重要。

（四国圏広域地方計画協議会会長）

両圏域は国際的にも名の通った観光地を有し、特に瀬戸内海の多島美は世界に誇るべき資源。また両圏域には日本一、世界一のシェア、技術を有する競争力ある多くの産業が集積し、これらを活用することにより両圏域の一層の発展が可能。さらに東南海・南海地震や台風などの自然災害に対しても、まずは中国地域、四国地域それぞれに災害対応力を確保した上で、圏域をこえて連携することが重要。

2．中国圏・四国圏広域地方計画合同協議会について

< 合同協議会設置要綱について >

要綱について了承、議事進行を開催地の協議会会長が務めることを了承

3．議事

（1）中国圏・四国圏が連携するテーマと取組みの方向について

・・・資料 2、3 説明（事務局）

< 意見交換 >

5 つの連携テーマで検討を進めることについて

（岡山県）

- ・世界に誇る多島美の内海である瀬戸内海の利活用という面から、特に東アジアだけでなく欧米からもインバウンド観光を。アウトとインで岡山空港と高松空港を使うアジアからの観光客誘致等、観光の促進は非常に大きなテーマ。
- ・海ゴミの問題、漂着物、水質の問題など、産業活動に伴い生じる瀬戸内海の環境保全の問題への対応についても議論を深めたい。
- ・素材型の産業の各県連携も必要だが、特に循環型社会形成を目指した産業では連携を深めるこ

とが重要。

- ・農業の連携で新たな特産物の生産や瀬戸内海の水産資源を作り育てることも重要。
- ・防災面は中四国サミットでも提唱され、東南海・南海地震を念頭に置きながら訓練を行った。広域的な防災という観点から論議を深めていきたい。
- ・本四架橋の大幅な料金引き下げについて、暫定ではなく恒久的な実施を検討頂きたい。

(徳島県)

- ・近畿圏、九州圏を含めた形で広域的な連携策を検討し、隣接圏域の活力を中国圏、四国圏に取り込んでいくという考え方も必要。
- ・広域観光ルートは東京、京都、奈良など、知名度の高いところなどと連携する仕組みを考えていければと思う。

(事務局)

- ・農業や文化の連携については補強したい。
- ・合同協議会では中四国間の連携に特化し、近畿圏、九州圏との連携については、それぞれの協議会に諮っていくという形で進めたい。

広域観光・インバウンド観光の推進について

(鳥取県)

- ・外国から関空に入り中四国の空港から帰るといふ、広域観光ルートも触れて頂きたい。

(中国四国農政局)

- ・観光ルートで自然体験(農村・山・高原)の記述があるが、農業そのものの体験、農山漁村そのものの体験も重視しており表現を工夫頂きたい。

(山口県)

- ・本県は外国人観光客の内、県内宿泊客は約3割でほとんどが九州に宿泊。中四国圏で周遊ルートを形成し、連携して中四国で周遊させる方策に取り組むことが必要。

(愛媛県)

- ・瀬戸内海の良さは、とびしま海道やしまなみ海道など道路でつながっていることと、多様な離島航路で島がつながっているところであり、そこに多くの人々が生活し、文化的価値がある。そのあたりを包括的にとらえる表現で瀬戸内海観光を記述して頂きたい。

(中国経済連合会)

- ・圏域をまたいで観光振興をしていくということも非常に重要な課題。
- ・瀬戸内海は貴重な資源であり、クルージングなどを活かした振興が重要。
- ・観光振興に当たってはプロダクトアウト的ではなく、観光客、特に東アジア各国の方々ニーズを踏まえながら商品を提供することがポイント。
- ・観光案内所、案内板など語学的な受け入れ環境の整備にも注力することが必要。

(四国経済産業局)

- ・近畿圏、北部九州との連携も重要であり、日本社会全体の活性化に寄与する視点を打ち出してはどうか。
- ・観光立国日本の大きな目玉として瀬戸内海の魅力向上を目指すという視点を入れてはどうか。
- ・近畿圏、九州圏とつながって様々な景観・歴史・文化資源で連携していく、フィールドミュージアムのような形で広域的な観光ルート形成を進めていくべき。

- ・インバウンド観光振興に向けて、島めぐりのための定期航路開設や道路整備の主張があってもよい。

(事務局)

- ・表現の工夫や全体的な視点での整理、論点の充実について個別に調整させて頂きたい。
産業集積地間の連携による国際的な産業拠点形成について

(島根県)

- ・瀬戸内側の産業集積地の連携も重要と認識しているが、日本海側、太平洋側の広域物流ネットワークが瀬戸内側の産業を支えているという現状もある。浜田港では今年7月にウラジオストックとの定期便を開設して輸出が増大する等、北東アジアの経済的発展のポテンシャル、地理的条件を考えると、日本海側がますます重要。
- ・基本的な考え方の中に、産業拠点形成に併せた圏域内の物流機能強化について記述頂きたい。

(愛媛県)

- ・海事には海運、造船、船用産業の3つの要素があり、瀬戸内海には内航海運、外航海運の集積もある。単に造船産業が集積しているというだけでなく、これら全てを包括する海事産業、海事都市産業といった概念で表現して頂きたい。

(事務局)

- ・北東アジアについては中国圏では目玉プロジェクトとして記載しているが、中四国の連携という中で、どのように位置づければよいかという議論もあり、今後検討していきたい。
- ・海事都市なり、もう少し広い概念のものを盛り込んでいけるか、検討していきたい。
瀬戸内海的环境保全と修復について

(中国経済産業局)

- ・瀬戸内海域に集積する工場、コンビナートから出る副産物は、できれば自給自足、地産地消ということで、域内で完結することが理想。
- ・瀬戸内海で藻場の再形成に取り組まれる際に、科学的に藻場形成に資することが実証されているスラグを活かしてはどうか。

(中国四国地方環境事務所)

- ・瀬戸内海環境保全知事・市長会議の、瀬戸内海再生方策の提言で「里海としての再生」がうたわれており、漂着ゴミ、海底ゴミの清掃、瀬戸内海の砂防を中心とする環境修復などを含めて、「里海としての再生」という言葉を利用して頂きたい。

(香川県)

- ・瀬戸内海的环境の保全と修復に関し、そもそもごみは山から川を下って海に流れてきているので川上から川下への取り組みについての記述があるべき。また、出てきたごみを処理するだけでなく、瀬戸内海沿岸各県が汚水処理率を高めるといった根本的な取り組みが必要。

(事務局)

- ・副産物等リサイクル資源の活用については、今後表現を詰めさせて頂きたい。
- ・里海としての再生については、文言を今後詰めさせて頂きたい。
- ・瀬戸内海的环境の保全と修復については、今記述しているものが限定的であるため、今後皆さんの知恵を借りながら内容を充実させていきたい。
暮らしの安全・防災ネットワークの整備について

(島根県)

- ・ 中山間地域の記述がもう少し色濃く書いてあってもよいのではないか。
- ・ 中山間地域の過疎高齢化は深刻な状況だが、一方で水、食料、豊かな自然環境といった多面的機能を有しており、その存在意義を明確にして魅力ある中山間を支援していくという中で、自立的な発展あるいは活性化を図っていくという記述があると良い。

(鳥取県)

- ・ 中山間地域対策は、両圏域の共通課題であり、計画の中で記述をしっかりとお願いしたい。

(事務局)

- ・ 安全・防災ネットワークの整備において、中山間地域に関し中国圏、四国圏の連携による取り組みとしてどういったものがあるか、ということで記述が弱くなっている部分がある。
- ・ 中山間地域は両圏域の広域地方計画で重要な問題という認識は当然持っている。

(中国圏協議会会長)

- ・ 中山間地域等への支援は地域によって異なり、この合同会議本来の目的からすると少し外れている気もする。

広域交通ネットワークの連携促進について

(徳島県)

- ・ 本四道路について中国圏、四国圏の連携を促進するために、恒久的な、他の高速道路並みの割引制度を計画に盛り込んで頂きたい。

(岡山市)

- ・ 瀬戸大橋の料金引き下げと中国横断自動車道の4車線化という、日本海から太平洋へのネットワークを形成する高規格幹線道路の円滑化について盛り込んで頂きたい。

(広島市)

- ・ ビジネス交流という概念を加えてはいかがか。
- ・ 中国圏、四国圏の連携事例としてビジネスフェア中四国というものがあり、参加企業等にビジネスマッチングの機会提供、販路拡大や商品PRの支援など、中国圏、四国圏の経済的な結びつきの強化を目的として、年々充実が図られている。こうした具体的な交流事業が様々な地域や分野で展開されることが2つの圏域の連携強化につながると考える。
- ・ 日本海・太平洋にまたがる交流連携の新たな展開のところには、観光交流という言葉があるが、これにビジネス交流も加えてはいかがか。
- ・ また、交通ネットワーク以外のことも記述されているので、タイトルを広域交流・広域交通ネットワークの形成促進のように改めることもできるのではないか。

(萩市)

- ・ 道路網については、日本海から太平洋までの交流連携ということだが、まずその前に日本海側の都市を横に結ぶ道路網の整備促進を入れて頂きたい。
- ・ 瀬戸内海を中心とした発展も重要だが、日本海沿いの都市は外周のようなイメージで、この都市間の連携を存続させるためにも、道路整備を入れて頂きたい。

(香川県)

- ・ 観光についてもくらしの安全・防災ネットワーク整備にとっても、広域交通ネットワーク、高速道路の整備を進めることが一番大事。

- ・中国圏、四国圏の連携という意味では、瀬戸大橋をどう使っていただくかが大事であり、現状の割引制度に加えネットワークとして一体的に料金制度を整えることがベースではないか。
- ・指定離島航路維持のための仕組みはあるが航路の存続が厳しくなっている。離島航路について前向きな記載をお願いしたい。

(高知県)

- ・日本海、瀬戸内海、太平洋、中国山地、四国山地という特徴の異なる3海2山をどう活かしてつないでいくか、ということが一番の大きなテーマ。
- ・日本海から太平洋にまたがる交流連携ということであるが、それぞれの圏域内、太平洋側や日本海側の整備も、中国四国の活性化・連携の基盤として重要。

(鳥取県)

- ・中国圏四国圏の高規格幹線道路がすべて完成すると網の目のようになる。これは観光、防災、産業に寄与する社会資本整備の要であるため早期完成を望むとともに、中四国圏域の起爆剤となることを望む。

(山口県)

- ・道路交通網の整備は大変重要であり、是非日本海側にも高速道路を通して頂きたい。
- ・両圏域の連携にとっては、ハードだけでなくソフトも含めて、陸・海・空の交流・交通基盤が重要。
- ・徳山下松港が全国で初めて臨海部産業エリア形成促進港の指定を受け、海外からの大型船によるバルク貨物輸送の効率化を目指しているが、こうした取組は両圏域の中心の瀬戸内だからこそできる取組であり、今後具体的に記載をお願いしたい。

(事務局)

- ・この報告書を受けて、各広域地方計画へ反映することになっているので、各圏域内の事項はご意見として伺い、中四国連携を中心としたテーマを主体的に取りまとめたい。
- ・高速料金についてのご意見が多かったが、現在もいろんな形で動いているものなので、この協議会の報告書としての記述については事務局で詰めさせて頂きたい。
- ・離島航路、海の交通については、具体的な政策手段が伴わないと記述が難しいこともあり、実現可能性を具体的に調整した上でどのように盛り込むかを決めさせて頂きたい。
- ・ビジネス交流については、産業面での交流連携を図るテーマであるので反映したい。

全体を通じて

(四国圏会長)

- ・中国・四国圏域の貴重な資源である瀬戸内海の活用を中心とした広域観光の推進、海上物流機能の強化、造船業など海事産業エリアの形成といったご意見や、瀬戸内海だけではなく日本海から太平洋をつないだ活性化策等についても大変重要なご意見を多く頂戴した。
- ・四国の8の字道路の整備、日本海側の道路整備がどうしても最低限必要。また中国圏・四国圏の交流連携を促進するために橋をより使いやすくすることが大前提である。
- ・本日の意見はそれぞれの計画への反映を念頭におき、中国、四国それぞれでしっかりと議論し、今後両圏域で調整していくことになると思うので、よろしくをお願いしたい。

(事務局)

- ・本日の意見は今後幹事会などを通じて個別に調整させていただきながら、報告書を完成させていきたい。
- ・これを受けて、それぞれの圏域の広域地方計画への反映を検討させていただきたい。

4．閉会

中国地方整備局挨拶

- 以上 -